



# 豪雨災害における市町村支援の経過



福岡県保健医療介護部 健康増進課

参事 松田京子



# 福岡県の概要

面積: 4,987km<sup>2</sup>

人口: 5,107,858人 (R5.9.1)

世帯数: 2,392,667世帯

高齢化率: 27.98%

県型保健所 9か所

市町村数: 60

- ・保健所設置市 3  
(政令市2中核市1)
- ・市町村 57

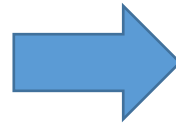


○ 特別警報発表地域 (R5.7.10)

# 福岡県の概要

## 統括保健師の配置状況

- ・県(1) 県型保健所 (9/9)
- ・保健所設置市 (2/3)
- ・市町村 (20/57)



## 災害担当窓口(保健師)

- R5年度
- 保健所設置市(3/3)
  - 市町村(57/57)

### ➤ 災害に関する平時の取組

#### ○ 県型保健所と管内市町村

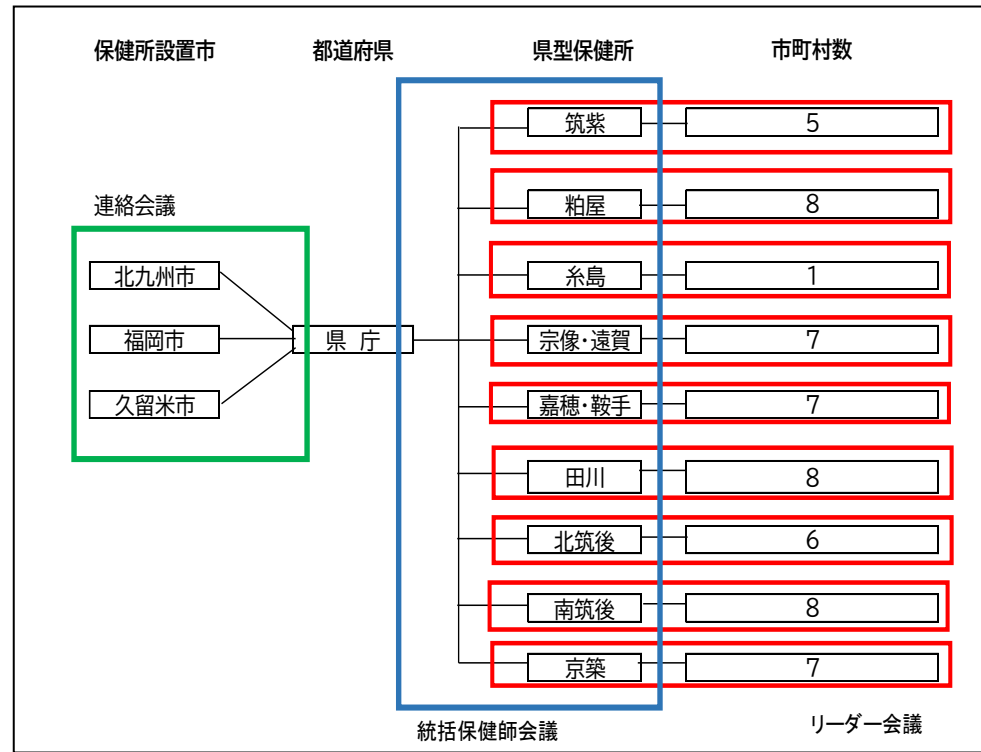
- ・リーダー会議における災害発生時の対応等について検討
- ・現任教育での研修、訓練

#### ○ 県と保健所設置市

- ・連携会議の開催

### ➤ 災害時健康管理マニュアル策定

(H29年策定 R5改訂)



# 今年7月の被害状況

7月7日から雨が降り出し、10日県全域に警報、6自治体には特別警報が発表



■ 特別警報の発表地域

## 主な被害の状況(7月14日)

人的被害(死者、重軽症)	12件
家屋被害(全壊、半壊、床上・下浸水)	412件
道路被害	166件
橋梁被害	4件
河川被害	99件
土砂被害	124件



前週八女香春線に押し寄せた土石流により被災した店舗  
(朝倉市紀木里丸)

過去にも人的被害をもたらした豪雨災害があった  
平成29年 九州北部豪雨

# 保健師派遣の経過

## ➤保健所設置市への支援

○県統括保健師から久留米市の統括保健師に被害状況及び保健師の派遣要請について確認し、支援内容等について協議

### ＜派遣依頼内容＞

- ・派遣期間：7月13日から1週間程度
- ・活動時間：16時～20時
- ・避難所（3か所：避難所、福祉避難所、自主避難所）への巡回相談を予定
- ・災害経験のある県保健師と市保健師をペアにして巡回したい

○県統括保健師等が、7月13日からの保健師派遣に向け調整及び派遣後の状況把握



# 保健師派遣の経過

## ➤市町村への支援

- （7月10日）県統括保健師から県型保健所統括保健師（以下「保健所統括保健師」という）に管内市町村の被害状況及び保健師の派遣要請についての確認依頼
- 保健所統括保健師から管内市町村の被害状況及び保健師の派遣要請の有無を確認（被害状況等の確認は2回/日）→保健師の派遣要請なし
- その後、1市1村から保健師の派遣要請があり、保健所と市村の統括保健師とで支援内容について協議
  - （目的、派遣期間、対象地区、支援内容及び方法、体制（人員）等）
  - ・13日東峰村から派遣要請・・・保健所統括保健師等が現地に出向き被害状況の確認と支援内容について協議
  - ・18日うきは市から派遣要請・・・電話にて被害状況の確認と支援内容について協議
- 県統括保健師等が県内市町村の健康被害状況のとりまとめと保健師の派遣調整及び派遣後の状況把握

# 被災自治体の状況

## 被害状況確認 7月10日AM

M 保健所	O市	自主避難所7ヶ所	なし(7世帯 8名)	1ヶ所家屋倒壊*元々危険家屋	なし	健康管理支援応援 なし
	Y市	開設なし	なし	なし	なし	健康管理支援応援 なし
	M市	指定避難所17ヶ所	現時点ではなし	M市災害情報共有システム~上隅町土砂流入・冠水による通行止め、市内中心部3ヶ所冠水あり	現時点ではなし	健康管理支援応援 なし
	T市	3箇所	なし(避難者8世帯 9名)	道路冠水あり 床下浸水あり(詳細把握中)	なし(小学校1か所に下水道が雨水で満杯となる排水できず)	健康管理支援応援 なし
	K市	2箇所	なし(避難者1世帯 2名)	なし	なし	健康管理支援応援 なし 有明海の満潮時(14時ごろ)に被害がどれくらい出るのか
	I市	なし		なし	なし	
	B町	1箇所	なし(10名程度避難)	把握中	把握中	健康管理支援応援 なし
	H町	4箇所	なし(9世帯 17名)	床下浸水 道路冠水あり 詳細把握中	停電(小椎尾地区の約30戸) 九州電力が対応中	健康管理支援応援 なし 役場の電話を全て災害対策で対応中

## 被害状況確認 7月10日PM

M 保健所  * 変更 赤	O市	自主避難所7ヶ所	なし(H小 1名)	1ヶ所家屋倒壊*元々危険家屋	なし	健康管理支援応援 なし
	Y市	開設なし	なし	なし	なし	健康管理支援応援 なし
	M市	指定避難所12、自主: 6、その他避難所:1	なし(11名)	M市災害情報共有システム~上隅町土砂流入・冠水による通行止め、市内中心部4ヶ所冠水あり	なし	健康管理支援応援 なし
	T市	3箇所	なし(避難者5世帯 5名)	道路冠水32ヶ所 床下浸水あり 複数、交通規制21ヶ所	なし(小学校1か所に下水道が雨水で満杯となる排水できず)	健康管理支援応援 なし
	K市	2箇所	なし(避難者6世帯 7名)	道路冠水3ヶ所	なし	健康管理支援応援 なし
	I市	なし		なし	なし	
	B町	1箇所	1名 トイレ移動支援(20名程度 避難)	確認中	落雷にて家電仕様不可1件	健康管理支援応援 なし
	H町	4箇所、その他2ヶ所	なし(8世帯 13名)	床下浸水 道路冠水あり(詳細確認 中)、家屋全壊2件(住民は無事)	停電(小椎尾地区の約30戸) 九州電力が対応中	健康管理支援応援 なし 役場の電話を全て災害対策で対応中

# 被災自治体への保健師派遣

**久留米市へ派遣する皆様へ、**

1 **活動内容**  
土砂災害のあった田主丸地区の健康支援のための避難所巡回  
避難所名：竹野小学校、田主丸総合支所（隣接避難所）

2 **活動時間**  
16時～21時

3 **接待料**  
久留米市様（保健師、精神保健福祉士）1名、県保健師1～2名の計2～3名で巡回

4 **集合場所及び時間**  
・集合場所：久留米市保健所  
久留米市の公用車にて避難所へ向かう  
・集合時間：16時

5 **服装及び必要用具**  
・活動しやすい服装  
・筆記用具

6 **県への報告内容等**  
【7月15日（土）～16日（日）に派遣される方】  
・派遣した翌日の10時～12時までに下記連絡先に電話で報告する。  
県保健師連絡：県庁保健課 松田 幸希（090-8889-1811）  
・活動記録として「日報」、「避難所日報（避難所状況）」、「避難所日報（避難者状況）」を1日1回（土）に県保健課へFAXにて提出する（FAX：092-643-3271）  
・避難者個人への支援記録は、久留米市の記録を、個人情報等を削除した状態で1部写しをもち、後日、県保健課へ提出する。  
  
【7月17日（月曜日）～21日（金）に派遣される方】  
・派遣した翌日の午前中までに、活動記録として「日報」を県保健課へFAXにて提出する（FAX：092-643-3271）。FAX 受理後、当県より電話にて活動状況の確認をさせていただきます。  
・避難者個人への支援記録は、久留米市の記録を、個人情報等を削除した状態で1部写しをもち、後日、県保健課へ提出する。

＜避難者への相談支援記録＞  
県保健師が避難所等で相談支援を行った際の相談記録（個人情報等を削除したもの）

## ＜日報＞

日報様式

福岡県庁 健康増進課保健事業係 まで  
(FAX: 092-643-3271)

報告日 令和 年 月 日 ( )  
氏名 氏名 午前 午後 ( )  
活動者 ( )

1 活動状況(経時記録)

時間	活動場所	活動内容	備考

2 朝日の予言

3 備 考(注見物品、気づいたこと、引継ぎ事項など)

## ＜健康調査連名簿＞

**健康調査連名簿** (用途：全員把握、乳幼児、高齢者、その他)

・避難所等において、全体の健康調査を行う際にも使用する。継続支援が必要な場合は、要配慮者に○印を押し、個別健康調査(様式1)を作成する。  
・乳幼児・高齢者・介護が必要な者・特定の対象者を把握する場にも使用する。  
・記録に関しては、記録簿を備考欄に記入すること。

市・町・村		避難年月日		留意事項(備考)
氏名	年齢	年	月 日	
1	男・女			
2	男・女			
3	男・女			
4	男・女			
5	男・女			
6	男・女			
7	男・女			
8	男・女			
9	男・女			
10	男・女			

## ＜避難所日報（避難所状況）＞

避難所日報(避難所状況) 避難所名 避難所コード

報告日 年 月 日 記載所(住所・番地) 電話番号 FAX

項目	人数	性別	年齢
総数			
男性			
女性			
高齢者(65歳以上)			
乳幼児(0歳以下)			
障害者			
高齢者(65歳以上)			
乳幼児(0歳以下)			
障害者			
その他			

報告者の状況 特記事項(避難者含む)

健康 〇良好・〇不調 予定 〇  
体温 〇正常・〇不調 予定 〇  
呼吸 〇正常・〇不調 予定 〇  
消化 〇正常・〇不調 予定 〇  
排泄 〇正常・〇不調 予定 〇  
皮膚 〇良好・〇不調 予定 〇  
睡眠 〇良好・〇不調 予定 〇  
食事 〇良好・〇不調 予定 〇  
その他 〇良好・〇不調 予定 〇

## ＜避難者日報(避難者状況)＞

避難所日報(避難者状況) 避難所名 避難所コード

報告日 年 月 日 記載所(住所・番地)

●配慮者を示す方●

項目	人数	性別	年齢
高齢者(65歳以上)			
乳幼児(0歳以下)			
障害者			
高齢者(65歳以上)			
乳幼児(0歳以下)			
障害者			
その他			

特記事項

●対応が必要なケースがある場合● ※本記録簿に於て、速やかに対応しなければならぬケースがある避難者を記載する。

必要なケースのある者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)

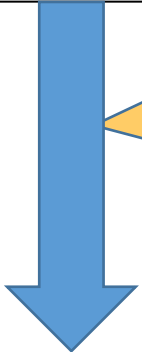
対応可能な対応者 〇無 〇有 (人数)



# 保健所設置市(久留米市)への県の支援

## <派遣依頼内容 (7月11日)>

- 派遣期間:7月13日から1週間程度
- 活動時間:16時~20時
- 避難所(3か所:避難所、福祉避難所、自主避難所)への巡回相談を予定
- 県と市の保健師をペアにして巡回したい

- 
- ・久留米市では、豪雨災害による人的被害経験は初めて  
住民への健康支援の取組みについて、市の中での調整に時間を要した
  - ・市の統括保健師に様々な調整・判断が求められる  
(被災者の健康支援に関する方向性・判断、若い保健師への指示、受援調整等)

## <県の支援内容>

### ○保健師の派遣

- ・期間:7月15日(土)~18日(火) 計4日間
- ・派遣保健師数:2名(経験者、若手)/日 計7名(18日のみ1名)
- ・活動方法:避難所(3か所)を県と市の保健師で巡回

### ○その他

- ・支援終了後も県統括保健師が市の保健活動状況を継続して把握
- ・住民へのメンタルヘルス支援について、市からの相談に対応

# 久留米市の保健活動

- 健康課題がある住民の把握の取組
  - 罹災証明書発行時に健康状況アンケートを実施し、支援が必要な方を把握し支援
  - ボランティアの全戸訪問(甚大被害地区の訪問)から支援が必要な方を把握し支援
- 今後の住民へのメンタルヘルスケアを見据え、久留米大学の准教授からのレクチャーを企画
  - ・訪問する際の注意点について
  - ・対象者:保健師、事務職等



# 市町村への県の支援と市の保健活動

## ＜東峰村への支援：保健師の派遣＞

○派遣期間数：7月14日（金）、18日（火） 計2日間

○派遣保健師数：14日2名、18日4名 計6名

○活動内容：県保健師2名1班で、村保健師が気になる住民を中心に自宅を訪問

○活動時間：9：00～

## ＜うきは市への支援：保健師の派遣＞

○派遣期間数：7月19日（水）～25日（火） 計4日間

○派遣保健師数：2名/日 計8名

○活動内容：保健師1名（県または市）と事務職1名の2名1班で、独居老人などの高齢者世帯を中心に訪問

○活動時間 9：30～17：00

# うきは市の保健活動

住民の状況: 床上・下浸水に遭っていても我慢している。声をあげられずに家の片付けができない、今後の生活に不安をつのらせている。(特に高齢者)  
保健師の思い: ボランティアの活用や心配なことは相談していいことを広く住民に呼びかけないといけない。

## メディアの活用

西日本新聞( 7/20 筑後版)

うきは市保健課は、10日からの大雨で被災した一人暮らしの高齢者らを訪問。

～略～

同課は17日から保健師と事務職員の2人で班をつくり、浸水被害が大きかった同吉井町を中心に回っている。19日保健師らが一人暮らしのAさん宅を訪問。

～略～

Aさんは、被災当時を振り返りながら猛烈な雨に怖くて仕方なかったことやボランティアに畳上げと床下乾燥を手伝ってもらったことなどを話すと二人は熱心に耳を傾けた。

保健師は、～略～「何かあったら連絡を」と念を押し、水やパン、支援策を掲載したチラシを渡した。

Aさんは、「二人が来てくれてありがたい。ボランティア情報も教えてもらった。とても頼りになる」と感謝した。



# 被災自治体への県の役割

## <今回の支援から>

### ○保健所設置市や市町村への支援

- ・保健所設置市に保健師を派遣するまで、数回の調整が必要であった
- ・市村への支援は、派遣要請の翌日に派遣できた

### ○派遣調整に関する庁内の役割分担

- ・派遣に関する様々な連絡や問い合わせ、庁内の調整等が県統括保健師に求められた

## <被災自治体への県の役割>

### ○被災自治体における保健活動への支援

(被災者支援経験保健師の派遣、メンタルヘルスへの対応等)

### ○被災自治体の統括保健師の相談役、保健活動に関するマネジメントへの支援

### ○有事の際には、迅速に支援内容の協議できるよう、平時からの統括保健師のネットワークの構築



# 今後の展望

## ○平時からの健康危機発生時の連携・連絡体制の構築と被災時の保健活動についての協議

### ➤保健所設置市

- ・保健所設置市と県の連携体制の構築
- ・市統括保健師へのマネジメント支援について検討

### ➤市町村

- ・各保健所毎に統括保健師のネットワークの構築
- ・リーダー会議等を活用し、災害発生時の保健活動についての協議

## ○被害状況に関する情報収集等の整理

- ・「災害時における保健師等応援派遣調整の手引き」の策定



ご清聴ありがとうございました。

